

(社)日本建築学会九州支部1月常議員会議事録

日時：2008年1月24日(木)14:00～

場所：九州支部事務局会議室

出席者：渡邊支部長、大井常議員、島岡常議員、趙常議員、西川常議員、山田常議員、木方常議員、北山常議員、木村常議員、萩島常議員、志賀建築九州賞「作品賞」運営協議会幹事、事務局(伊地知)

・前回議事録確認

- 11月常議員会議事録(案)(尾宮常議員作成,渡邊支部長・大井総務幹事修正追記) メールにて送付済み
- 12月幹事会議事録(案)(萩島総務幹事作成,大井総務幹事修正) メールにて送付済み

・報告事項

1. 本部関係報告

- (1) 11月担当理事会報告(渡邊支部長) 回覧- 1
- (2) 12月理事会報告(渡邊支部長) 資料- 1, 回覧- 2
公益法人化に向けた2007・2008年度事業計画・収支決算(案)の作成
- (3) 12月支部長会議報告(渡邊支部長) 資料- 2, 回覧- 3
特色ある支部活動は低調な傾向
- (4) 1月担当理事会報告(渡邊支部長) 回覧- 4
- (5) 12月学術推進委員会報告(北山学術幹事) 資料- 3, 回覧- 5
学術推進委員会の改革具体案として,基準,指針,標準仕様書等は現在150ほどあるが,アカデミックスタンダードを含めた全体が網羅されるべきである。

2. 支部関係報告

- (1) 11月,12月の支部事業報告について(大井総務幹事) 資料- 4
報告された。
- (2) 11月,12月の支部会計報告について(西川会計幹事) 資料- 5
経営助成費(審議事項(7)資料19と関連),シンポジウム等(2007大会)収入が報告された。
- (3) 「建築文化週間2007」の本部への報告について(大井総務幹事) 資料- 6, 回覧- 6
2007年度建築文化週間「沖縄における歴史的建造物再現の取り組み」58名の参加があった。
建築文化事業 親と子の都市と建築講座2007「夢の住宅をデザインしよう」42名の参加があった。
- (4) 2008年支部文化事業企画委員会報告(大井総務幹事) 資料- 7
建築文化週間事業担当:宮崎支所,委員会開催日時:2008年1月24日(木)13:00～
スギ材の生産日本一である宮崎県として,木造建築に関する事業計画「MIYAZAKI 発「木造建築の技術と魅力を語る」」について報告された。
- (5) 2008年度特色ある支部活動企画の審査報告について(北山学術幹事) 資料- 8
支部からの応募4件,採択2件との報告,応募結果の開示を求めた。
- (6) 2008年日本建築学会文化賞候補業績の推薦依頼について(大井総務幹事)
・本部締切:2007年12月28日,11月常議員会も推薦なし。回答済み
報告された。
- (7) 2007年度支部共通事業「小規模建築物基礎設計指針」講習会,および「JASS8 防水工事&外壁接合部の水密設計および施工に関する技術指針・同解説」改訂講習会(大井総務幹事) 資料-9
現在の参加予定者数は,

「小規模建築物基礎設計指針」講習会 42 名

「JASS8 防水工事&外壁接合部の水密設計および施工に関する技術指針・同解説」改訂講習会 3 名
参加者が少ないと開催されないため、特に JASS8 については材料・施工委員長及び幹事に連絡し、周知を行ってもらう。

- (8) 2007 年度研究フォーラム・シンポジウム「まちと大学をつくる」報告（大井総務幹事）回覧- 7
報告がなされた。
- (9) 大韓建築学会釜山・蔚山・慶南支部との学术交流協定調印式ならびに同支部設立 60 周年記念式典
報告（渡邊支部長）回覧- 8
渡邊支部長・萩島総務幹事が参加した。韓国から 2008 年度九州支部研究報告会への出席を依頼し、
実績を作っていく。
- (10) 福岡支所開設記念シンポジウム「すまい・まちづくりにおける民間力」報告（大井総務幹事）
資料-10

報告がなされた

- (11) その他
- 1) 関係諸団体新年会等 報告（渡邊支部長，萩島総務幹事）回覧- 9
- 2) 寄贈図書（大井総務幹事）回覧- 10
・竹中技術研究報告
- 3) その他の各種案内（大井総務幹事）回覧-11

・ 審議事項

1. 2008 年度九州支部通常総会について（大井総務幹事）資料-11
開催日：2008 年 5 月 16 日（金），場所：福岡建設会館 7 階（会場予約済み）
付随行事・会長訪問を含む当日スケジュールおよび役割分担，会長講演会のテーマ選定
全体スケジュールについては資料 11 で了承された。
会長の講演テーマ「アーキニリング・デザイン 2008 テクノロジーと建築デザインの融合」を支部
として希望
昼食及び合同役員会時に懇談会を行う。その他は今後調整
委任状については送付していただくように周知する。
2. 支部役員（常議員・選挙管理委員）の候補者（大井総務幹事）資料-12
2008，2009 年度支部研究報告会，文化事業の開催等の観点から候補者を選定
3. 2008 年日本建築学会大賞業績候補の推薦依頼について（渡邊支部長）資料-13
昨年と同じく堀内清治先生を推薦（本部締切：2008 年 1 月 21 日）
推薦理由について支部長から報告がなされた。
4. 2007 年度 47 回日本建築学会九州支部研究発表会について
・発表登録数、教室割について（堀学術幹事）資料-14
了承された。ただし、都市計画の発表題数(2007 年度，99 題)がこれ以上増える場合、部屋数を増
やす必要がある。
・発表登録・電子投稿・プログラム編成についての報告（堀学術幹事）資料- 15，回覧- 12
原稿ファイルの容量増は先送り。応募要項の改定（パスワードやセキュリティーコードを外すこ
とについて），CD-ROM 化は次年度検討，原稿の不具合については業者による目視を委託（できる限
り救済する方向で）
・設計競技表彰式・講演会・懇親会・研究発表会について（植田常議員）資料-16
担当校に一任
・研究者集会について（北山学術幹事）
日時：3 月 2 日（日）12:50～13:20，会場：崇城大学 J 号館 1101 室

5. 2007 年度九州支部支部長賞の推薦について（萩島総務幹事） 資料-17
対象は大学学部，短期大学，工業高等専門学校^{の建築系学生のみを対象とした規定に改正}
6. 建築九州賞「作品賞」について（堀学術幹事，志賀作品賞運営協議会幹事） 資料-18
応募資料請求状況（1/24 現在，一般建築部門 33 作品，住宅部門 31 作品）の報告がなされた。
7. 2007 年度支部経営助成費（2 回目）の交付について（西川会計幹事） 資料-19
法人賛助会員の減少に対して，ダイレクトメールやホームページを充実させることにより，会員サービスの向上と会員企業 PR 効果の促進を図る。
8. 2008 年度事業計画案・予算案の策定方針について（支部長・総務幹事・会計幹事） 資料-20・参考資料-1
公益法人化をにらみ，特に「事業計画においては会員のニーズとともに社会貢献を重視する」ことを検討していく。
9. 2008 年度事業計画・予算編成に伴う照会について（西川会計幹事） 資料-21・参考資料-2
例年通り回答との報告がなされた。
10. 2008 年度支部共通事業設計競技の応募要領検討依頼について（北山学術幹事） 回覧-13
「記憶の器」7/4 締切
11. 2008 年度「全国大学・高専卒業設計展示会」の開催について（木村常議員） 資料-22
各支所に問い合わせた結果（昨年まで未実施の佐賀，宮崎および新設の福岡支所を含む）
佐賀，宮崎支所は実施せず，福岡支所を含む他の支所は例年通りの規模で実施との回答があった。
日程調整は担当者に一任。
12. 2008 年度日本建築学会国際交流振興基金の援助申請について（大井総務幹事） 資料-23
支所長・研究委員長に以来済み
萩島総務幹事に一任。韓国の研究者を 2008 年度支部報告研究会で招聘予定（渡邊支部長，萩島総務幹事に委任）
13. 大分支所長の交代について 資料-24
大分支所より支所長の交代についての連絡（常議員会承認事項）
1/15 依頼 1/24 承認
14. その他（大井総務幹事）
なし
・報告懇談事項
1. 短期的課題について
支部研究発表会の電子投稿化に伴う問題点への対応
法人会員について 会員サービスと新規会員開拓（渡邊支部長）
メーリングリスト整備およびホームページリンクに関する法人賛助会員への案内（萩島総務幹事） 資料-25
支所との関係を構築していく方向で検討
2. 中長期的課題について
建築諸団体との連携協力について
支部との連携を前面に出し，支所が対応する。
受託研究対策について 法人会員対策とセット（渡邊支部長）
できるだけ支部受託を依頼
研究委員会・支所活動のあり方について（渡邊支部長）
懇談会の企画について 他支部の状況，韓国との関係
懇談会の企画：合同役員会時に行うのが良いが，時間的に難しい。
韓国との関係：他国にも広げる。

. 次回会議日程

1. 2月幹事会

日時：2008年2月21日（木）14時～

2. 3月常議員会

日時：2008年3月18日（火）14時～

3. 4月幹事会

日時：2008年4月18日（金）13時～

14:00～15:00 は会計監査会を行う（監事予定確認済み）

場所：いずれも九州支部事務局会議室